

別記(一)

再び職員各位に告ぐ

一部職員間には、今日に至るも尚「三千人職員の期迫る」「職員の待遇改善要求のためには闘争せよ」「聯盟せよ」といふ一方には虚構の事實を宣傳して不安の念を煽ると同時に他方には巧に人心動搖の機を捉へて多数の職員を糾合せんと策動しつゝあるものがあるやあるや其甚敷は感慄其他の手段を用いて加盟を強要するものさへあるに至つたのであります。之が爲に心ならずも之に加盟して居る人々も少からずあるであらうと察し、之を取締に付き、是は日夜苦心しつゝ、あつたのであります。然るに最近に至り、之等聯盟者の中には容易ならざる陰謀を企てつゝ、あつた一味の者共に陰に氣脈を通じて居るなどの疑を受け、己に其の竹筒の取調べを受け、たもの減少からずあるのひあります。事茲に至り、是は我れが會社が公益を重んじ、社會奉仕を主義とする公の事業會社である以上、社會公衆に對する責務の上から見て、之をこの僞放任することは出来ないのであります。會社が今回職員若干名を解職するに至り、たのも誠に己志を